

令和8年9月1日(火)

【編集】役場プロジェクトチーム

【発行】鮫川村教育委員会

【電話】0247-49-3151

義務教育学校通信

今、どのくらい進んでいるの？

村では義務教育学校建設のため、鮫川村教育委員会内に「義務教育学校等開設準備室」を設置し、計画を進めています。そこで今回はその計画がどのくらい進んでいるのかを見てみましょう。

施設整備の決定事項

- ① 建設場所は現在の青少年広場
- ② 青少年広場の代わりとなる野外体育施設を旧修明鮫川校跡地に整備
- ③ 義務教育学校建設に係る事業費は約32億円
- ④ こどもセンターは後年整備

進捗状況(全て進行中)

- ① 建物の配置・構造を決めるための地質調査
- ② 土砂災害警戒区域を減らすための造成設計業務
- ③ 村道青少年広場線を拡幅するための設計業務
- ④ こどもセンターの修繕必要か所の洗い出し



学校と設計事務所の意見交換会

このほか、教室等の配置についても検討を重ねています。まずは設計事務所の素案を役場プロジェクトチーム・幼保小中教育連携協議会で練り直しました。さらに最も重要な現場の声を反映させるため、小中学校の先生とも意見交換を重ねています。

役場で財政面や防災面での課題解決を図り、学校で使い勝手や安全性の課題解決を図ることにより、教室などの配置案は現実的であり、使いやすいものが出来上がりつつあります。

学校が建つと税金はどうなるの？

村民の方からは、将来世代に負担がかかるの？税金は上がるの？という不安の声が聞かれます。

単刀直入に言うと、学校建設が理由で税金は上がりません。地方税法では「標準税率」が定められ、基本的に全国一律の負担となるよう設計されており、鮫川村はそれを遵守しているためです。

しかし、学校建設にはたくさんのお金を使いますので、他の事業（道路整備や農業者支援など）に影響が出る心配は考えられます。

そこで村が様々な角度から深く考え、他の事業に影響が出ないギリギリの予算額はいくらかを検討した結果が32億円という金額なのです！



鮫小 PTA 会長のお話

鮫川小学校 PTA 会長 金澤 剛士



熱い想いで未来を見据える金澤会長

子どもたちの未来と
鮫川村のこれから

義務教育学校の建設に関しまして、現在の小中学生を対象としたアンケートにおいて、「楽しみ」「うれしい」「期待している」といった前向きな声が多く寄せられています。これを見たいしました。何よりも、これから学校で学び、生活していく子どもたちの気持ちや声を大切にすることが最も重要であると考えております。

一方で、不安が全くないわけではありません。少子化が進行する中で、将来的に児童生徒数が減少した際に、その校舎をどのように活用していくのか、また見据えた学校づくりが

建築士さんはどんな人？

鮫川村の義務教育学校の設計図を作る「建築士」さん、経験豊富ですごい方です。

◆会社名 「(株)田畑建築設計事務所」

◆氏名 田畑 建一(タバタ ケンイチ)

◆資格 一級建築士

◆実績 ○みなみあいづ支援学校整備

基本・実施設計業務

○相馬支援学校移転新築工事

基本設計・実施設計業務

○ひらた清風中学校

基本・実施設計業務

○川俣町新庁舎建設

基本設計・実施設計業務

○福島市松川支所・松川学習

センター改築実施設計業務

このように、田畑建築設計事務所さんは学校建築に関する実績が十分であり、加えて事務所内には計4名の一級建築士が所属しており、非常に信頼できる設計事務所さんです。今回の義務教育学校建設に係る設計業者を決める際も、非常に厳しい基準をクリアして選ばれました。

また、説明会などで田畑さんの説明を聞いたことがある方ならご存じかと思いますが、田畑さんは非常に誠実な方です。大切な鮫川村の義務教育学校の設計には、まずは実績、そして何よりも村の意見を聞いてくれる誠実な人柄が不可欠です。田畑さんはその両方を兼ね備えたうってつけの人物であると太鼓判を押しておきます！

求められると感じております。学校を子どもたちだけの学びの場にとどめるのではなく、将来的には地域交流や子育て支援、福祉など、子どもから高齢者まで幅広い世代が活用できる拠点としての役割も担っていくことが重要ではないかと考えます。特に高齢化が進む鮫川村においては、介護や福祉を支える環境の整備は今後ますます重要性を増していくものと思われまます。そのため、義務教育学校の建設を単なる「学校整備」にとどめるのではなく、子どもたちの声を大切にしながら、すべての世代が安心して暮らせる村づくりの契機としていただければ幸いです。

田畑建築士さんから

みなさんへ

みなさんこんにちは。

令和7年に行われた設計者選定の手続きで私たちが選ばれたこと、心から感謝しております。

私たちが県内各所で学校の設計をさせていただいて感じることは、先生方、PTAの方々、役場の方々、さらには地域の方々々が熱意をもって取り組みられるほど素晴らしい学校になるということです。鮫川村の方々々は毎回熱心で、私たち設計者は圧倒されています。素晴らしい学校が鮫川村に誕生することは間違いありません。

学校に通うことが楽しみでしかたがない、いつまでもいたいと思える学校を創るため、毎日、鮫川村の風景を思い浮かべながら設計に取り組んでいます。期待してください。



田畑建築設計事務所
田畑建築士

最後に



おかげさまで「義務教育学校通信」も村民の皆様の目に留まり、ご意見をいただくようになりました。お気づきの方もいるかもしれませんが、ご要望にお応えし、今回から文字を大きく見やすくしました。

今後も義務教育学校に関する記事を掲載していきますので、ご意見・ご要望などがある場合は是非義務教育学校等開設準備室(村教育委員会内)へお問い合わせください。

次号では、現在の進捗状況について、さらに詳しく掲載します。また、小中学生の意見をもっと聞きたいというご要望をいただきましたので、次号に掲載します。

編集後記

「学校は本当に建つの？」という声を真摯に受け止め、理想の義務教育学校を目指して計画は一步步進んでいます。子どもと村の未来を育む学校をともに作りましょう。皆さんの熱い想いをお待ちしております。



村ホームページ
義務教育学校等整備